

# R6年度 研究大会 高校チーム

令和7年2月26日(水) 山梨県総合教育センター



YAMANASHI PREFECTURAL  
EDUCATION CENTER



# 山梨大学アドバイザー

小川 弘一      小林 智      井上 孝悦

## 所内アドバイザー

学校運営支援統括幹	手島 俊樹
県立次長	藤巻 理恵
研修指導課課長	藤原 千鶴

## 担当指導主事

指導主幹・指導主事	小俣 義一
主幹・指導主事	諏訪 めぐみ
主幹・指導主事	三枝 敦子
副主幹・指導主事	河野 文宣
副主幹・指導主事	江川 みづほ
主査・指導主事	河澄 直子

令和6年度

総合教育センター

研究支援 高校チーム



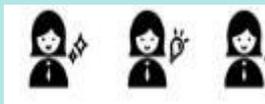
# 00 研究推進校

## 研究推進校

### 上野原高校 (R6~R7)

#### 推進校の研究主題

地域や社会に興味を持ち、社会との関わりを意識しながら自分の進路について調べたり、様々な学習活動を通じて学ぶことの意味を考えたりしながら、「自らの夢を実現できる生徒」の育成



キャリア  
デザイン



自己探究



対話的な  
学び

## 主題・副主題

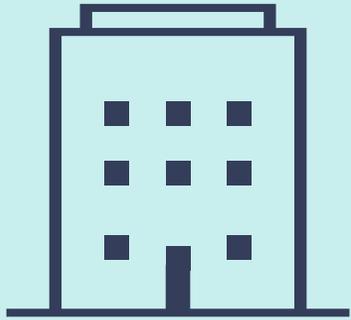
「自らの夢を実現できる生徒」の育成に向けた支援

～「DREAMS COME TRUE SYSTEM」の

アップデートに向けて～

# 02 研究の目的

## 総合教育センター



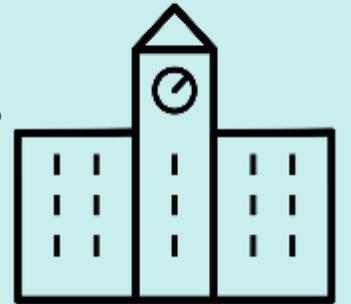
- ・ 支援の在り方
- ・ 成果と課題の検証

学校のニーズ

研究支援

## 研究推進校

- ・ 研究の推進
- ・ ブラッシュアップ



生徒のより良い  
キャリアデザインへ

「産業社会と人間」(1年)

新しいプログラム『バイタリティ探究』

## 既存のキャリア教育 【ドリカムシステム】

- |    |      |           |
|----|------|-----------|
| 1年 | 夢の探索 | 「夢を見つけよう」 |
| 2年 | 夢の確立 | 「夢を深めよう」  |
| 3年 | 夢の実現 | 「夢を叶えよう」  |

# 『バイタリティ探究』とは ～研究支援 最初のステップ～

研究支援・授業実践に向けての視点

『バイタリティ探究』の教材としての特徴を理解・共有する

## 【どんな教材なのか】

\*4つのテーマについて考察し、段階的に自己の将来像に迫る；

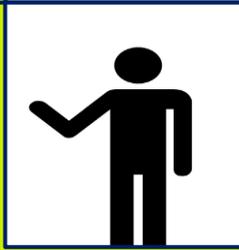
①生きるとは→②社会の成り立ち→③社会・世界との関わり→④自分の未来

\*シンキングツールを活用したワークで、探究的学びの基礎となる姿勢を育成

【考える】



【伝える】



【言葉にする】



【話し合う】



【教材の目指すところ】 自己探究 ➡ 人生を切り拓く自分の可能性に気付く

⇒生徒の実態に照らした問いの設定、ペアワークの活用、シンキングツールの修正など、  
教材を柔軟にカスタマイズして扱う必要

# 03 研究支援の方法



- ・ アンケートによる意識調査/実態把握  
(7月と12月に実施：変容の可視化)
- ・ 授業の参観による現状把握

- \* 教材・授業の検討
- \* 授業担当者の意識を高める
- \* 研究のためのコミュニティ

➡改善に向けての模索・検討

➡学びのコミュニティづくり  
担当者から徐々に輪を広げるイメージ

# 04 これまでの経過

## Teams利用

- \* 授業担当者とセンター指導主事のチームを作成
- \* 推進校主担当者と授業の振り返りや、教材のポイントを検討

年間 22回

## オンライン ミーティング

- \* 授業担当者との意見交換
- \* 授業の振り返りと改善策、次回の授業ポイントを共有
- \* アンケートの分析結果の共有など

【8月】 【1月】  
→ 2回実施

## 授業参観・ 研究協議

- \* 実態・進捗状況把握
- \* 研究協議
- \* 生徒の活動・授業者の様子を見取り
- \* 山梨大学のアドバイザーからの助言

上野原高校へ8回の訪問  
(打ち合わせ含む)  
4/25、5/29、8/6、9/18、  
11/27、12/14、2/12、2/19

## アンケート

- 分析・共有・改善へ
- \* 生徒の現状把握・意識調査の分析
- \* 実態を踏まえた取組の提案
- \* 取組後の変容について分析し、共有

【7月】 【12月】  
→ 2回実施

# 産業社会と人間 「バイタリティ探究」の授業の様子 【5月】

## 【新教材の導入】 戸惑いながらのスタート

この時点では、1人1台端末が揃わず、PCはグループごとに1台。

- ➡A3の用紙を見せながら発表
- ➡教室のモニターに写して発表



## 付箋を用いた KJ法

グループごとに  
「2005年以降に  
誕生したモノや  
サービス」を書き  
出して整理する



# 学びのコミュニティづくり：授業の振り返りを共有

## 【オンラインミーティング】 【Teamsでのやりとり】

- ➡上野原高校との物理的な距離を埋めるツールに
- ➡意見交換＝共に学ぶ姿勢
- ➡授業担当者による「授業の振り返り」も実施

## 上野原高校と総合教育センター オンラインミーティング



## 「自分の不満と社会の繋がり」の授業 を終えて …自分の考えの変化を書こう

### 【ワークシート：生徒の記述より】

\*学習する前と後で比べると、自分が思っていたよりも社会問題など色々な問題があって驚いた。自分達が大人になった時に、これらの問題がどうなっているのか将来について少し不安になった。

\*今日の授業で感じたことは、社会にはいろいろな問題があるということ。簡単に解決できない問題が多いので、少しずつ自分にできることを見つけながら過ごしていきたいです。

➡ここからどう深めていくか

- \*よりよい授業に向けて「授業の振り返り」を共有
- \*生徒の様子から「問いの設定」「授業展開」について検討
  - ➡生徒の見取りを通して、今後何が必要なのか考える

# 産業社会と人間 「バイタリティ探究」の授業の様子 【9月】



**自分の考えを整理**  
各自が一生懸命考え  
言葉にする

少しずつ探究的な活動  
に慣れる

答えが1つではない  
問いに向き合う  
→「考える」時間が大事



**教員も試行錯誤**  
生徒をどう導くか



**グループでの考察**  
各自の考えを仲間と  
共有する



**論述課題にも挑戦**  
300字で自分の考  
えをまとめる

# 目標と目指すべき姿を意識：振り返りシートの提案

## 振り返りシート「バイタリティ探究」フェイズ4

「産業社会と人間」振り返りシート 組 番 氏名 \_\_\_\_\_  
 バイタリティ探究 フェイズ4【私の未来をどのように創っていくのか】  
 ☆授業の最初に目標を確認し、意識しよう！

【フェイズ4】

STEP1 自分の未来物語を妄想する			
<b>目標</b>	*「興味あること」と「未来」をつなげて考えることで、自分の興味関心を深めることができる *未来の生活を良くするガジェット(道具やツール)のアイデアの描き方を知り、実践することができる		
日付	今日の主なワーク	振り返り(授業で考えたこと・今日のポイント・学んだこと)	自己評価
①	自分の興味ある領域を探す 【ワークシート 4-1-1①】 自分の未来物語を妄想する(1) 舞台設定「興味」を探せ！カードゲーム	生徒の記述 (考えたこと・気づき等)	A・B・C
/	自分の興味ある領域から、未来物語の舞台を設定する		



目標



主体的に学習に取り組み態度を育成

生徒

自分の興味関心のあることと未来を繋げて考えられましたか？振り返りを！

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価基準	A:どのような学問、産業の分野があるか把握し、その現状と未来について考えている。 B:どのような学問、産業の分野があるか把握している。 C:「どのような学問、産業の分野があるか把握できていない。」	A:創造的に自由に発想するための方法を実践し、工夫して表現できている。 B:創造的に自由に発想するための考え方や方法を実践している。 C:創造的に、自由に発想する方法について理解できていない。	A:様々な学問、産業の分野の中から自分の興味関心のあるものを意識的に探している。 B:様々な学問、産業の分野の中から自分の興味関心のあるものを探そうとしている。 C:様々な学問、産業の分野の中から自分の興味関心のあるものを探そうとしていない。	STEP1
評価方法	ワーク、ワークシート (未来物語の舞台設定)	ソープ、ソープシート (新しいガジェット、未来物語、未来物語への記入)	ワーク、ワークシート、振り返りシート (照れを探せ！カードゲーム、興味探究)	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	A:事例をもとに、様々な視点から発想し、考えをまとめることができる。	A:必要となるデータ、企業の情報などを収集・整理・分析することができる。	A:グループの活動に積極的に参加し、自分の役割を十分果たしている。	



ゴール

振り返りを自分の言葉で  
(メタ認知)

# 産業社会と人間 「バイタリティ探究」の授業の様子 【11月】

時には一斉で…  
時には各自で…  
時にはグループで…

様々な活動形態で探究活動

「自分と向き合う」  
「地域や世界に目を向ける」  
「将来を考える」



1人1台PCを使いこなして活動の幅が広がる



教員もヒントを出しながら一緒に考える



各授業担当者が、クラスの特徴に合わせて切り口を工夫

# 授業参観・授業公開の様子



山梨大学アドバイザー  
による授業参観

## 研究協議



\* 授業参観の機会を設定  
【センター指導主事の参観】  
【山梨大学アドバイザーの参観】  
→ 授業を「見せること」「振り返ること」  
確実によい方向へ変化

## 授業公開【2月】未来の家電の宣伝会議



## 「未来家電ポスター」

☆☆ 完成☆☆



大人も入ったグループで  
宣伝会議

# 総合学科発表会【12月】 ～1年次の主な活動～



総合学科の強み

普通教科教育 + キャリア教育  
= ドリカム・システム

## 外部講師による職業別ガイダンス



職業別ガイダンス



ドリームスピーチ

## 1年次 産業社会と人間 バイタリティ探究を活用した自己探究

自分や社会について考える

他者と意見を共有する



『バイタリティ探究』



職業人講話



大学訪問

# 3年間の見通し ～1年次の学びが次の学年への土台に～

『バイタリティ探究』に取り組んできたことで、原稿作成が例年よりもスムーズに



【1年次】  
自己の将来像を探究  
⇒ドリームスピーチ

夢の探索

夢の確立

【2年次】  
職業や自己の進路に関する  
課題研究  
⇒ポスターセッション



【3年次】  
横断的・総合的な課題研究  
⇒分科会で全員発表

夢の実現

# 05 アンケートの実施

## 7月 (Forms) : 意識・実態調査アンケート

### 【生徒アンケート】選択式16問

- ・現状を把握するための質問項目
- ・キャリア教育で身に付けさせたい「基礎的汎用的な力」と関連づけた質問項目

### 【教員アンケート】選択式16問 + 記述

- ・生徒と同項目を教員の目線から判断して回答
- ・記述では、授業で困りごと・教材についての意見などを把握

## 12月 (Forms) : 成果検証アンケート

振り返り記述回答あり

# アンケート項目【7月・12月共通】

Q1. 「産業社会と人間」の授業に興味や関心を持って臨んでいるか。

Q2. 授業の「目標」を確認し、それを意識して授業に参加しているか。

Q3. 授業の評価の観点（授業を通してつけたい力）を理解しているか。

Q4. キャリア教育を通して身に付けたい力とされている中で「これから生きていく上で、あなたが特に大切だと思う力」は何だと思うか。

- ①人間関係を築く力 ②協力・協働して取り組む力 ③自分の興味関心・強み弱みを理解する力
- ④目標を持って自分の能力に磨きをかける力 ⑤時間やストレスを管理する力 ⑥課題や問題を把握する力
- ⑦問題解決に向けて行動する力 ⑧物事を多角的に見たり考えたりする力
- ⑨将来に向け具体的に目標設定する力 ⑩目標達成のために努力したり工夫したりする力

Q5. この授業を通してあなたが特に身に付けたい力はどれか。

- ①コミュニケーション力 ②文章にまとめる力 ③他者と協力する力 ④発表する力
- ⑤自分の興味関心を理解する力 ⑥振り返りによって自己を改善する力 ⑦情報収集力
- ⑧情報を整理・分析する力 ⑨自分で課題設定をする力 ⑩自分の将来を考える力

Q6. 多様な他者の考えや立場を理解しようとしているか。

Q7. 自分の考えが正確に相手に伝わるように工夫しているか。

Q8. 周囲と力を合わせて話し合いや作業を進めているか。

Q9. 地域のことに関心を持ち、自分のことにつなげて考えているか。

Q10. 自分の興味や関心のあることを理解しているか。

Q11. 自分の長所・短所を理解しているか。

Q12. 自分の能力を高めるために、忍耐強く物事に取り組んでいるか。

Q13. 知りたいことについて資料・情報を収集し、分析して考えようとしているか。

Q14. 問題点について、振り返って改善をはかろうとしているか。

Q15. 働くこと（学ぶこと）の意義について理解しているか。

Q16. 卒業後、社会の中で生きている（生きていく）自分をイメージしているか。

課題

課題

課題

## 【12月選択：生徒】

\* 将来の目標（夢）に向かう気持ちはどのように変化したか。

## 【12月記述：生徒】

- \* 自分の将来を考える上で大事だと感じたのはどんなことですか。
- \* 日常生活における自身のあり方について、変化したと感じることはありますか。

## 【12月記述：教員】

- \* 探究的な学びの要素のある教材を取り入れて【よかった/大変だった】点は何ですか。
- \* この授業を通して得た力を、生徒が他の場面で生かしている姿が見られたら教えてください。
- \* 今回の実践を通して、自身のやり方や考え方に変化や気づきがあったら教えてください。

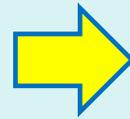
# 06 アンケート分析 1 (生徒の変容)

## 生徒たちが社会を生き抜く上で大事だと考える力

生徒が重視するのは…**他者との関係性**

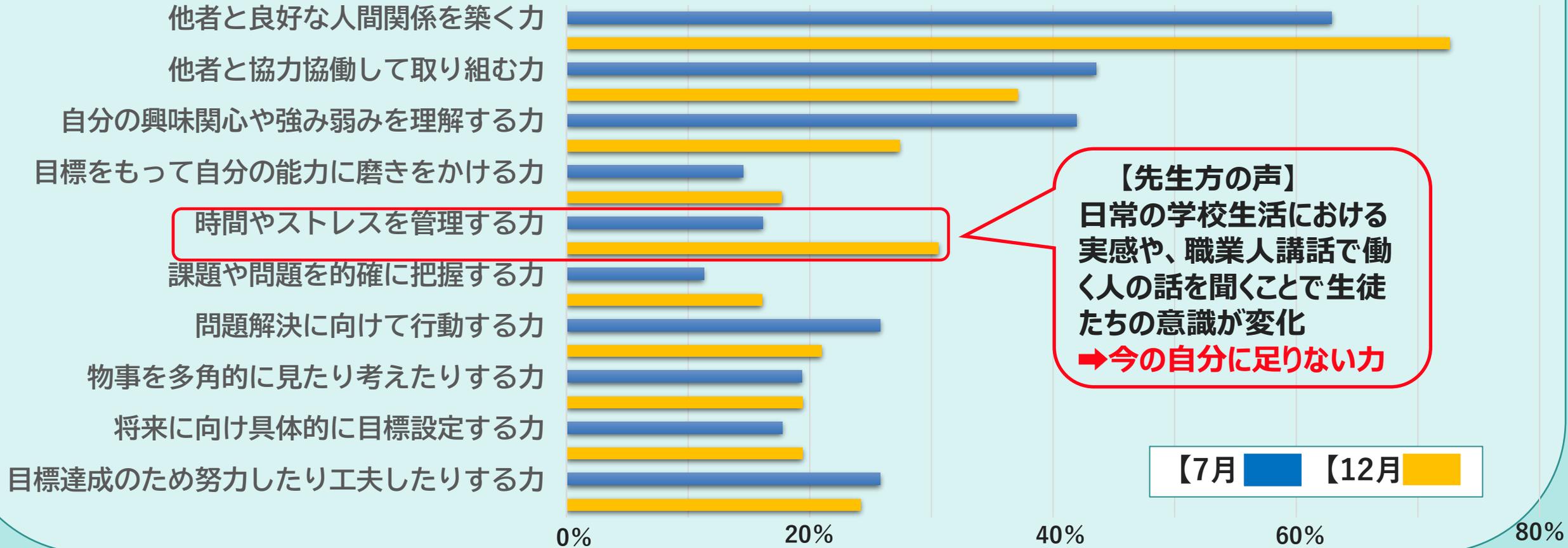
【7月】

1. 良好な人間関係を築く力
2. 他者と協力協働する力
3. 自分の強み弱みを理解する力



【12月】

1. 良好な人間関係を築く力
2. 他者と協力協働する力
3. **時間やストレス管理をする力**



# アンケート分析 2 (生徒の変容)

## 生徒たちが「産業社会と人間」の授業で身につけたい力

【7月】

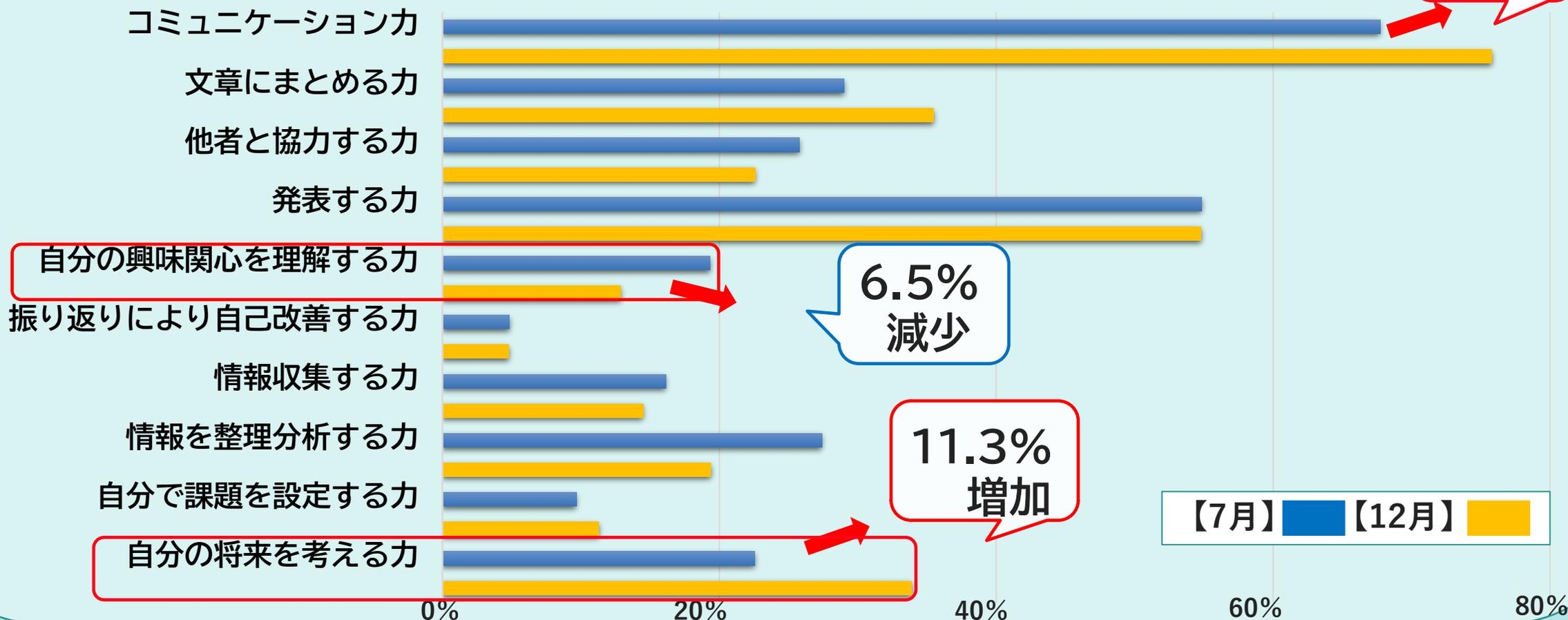
- 1. コミュニケーション力
- 2. 発表する力
- 3. 文章にまとめる力



【12月】

- 1. コミュニケーション力
- 2. 発表する力
- 3. 文章にまとめる力

8.1%  
増加

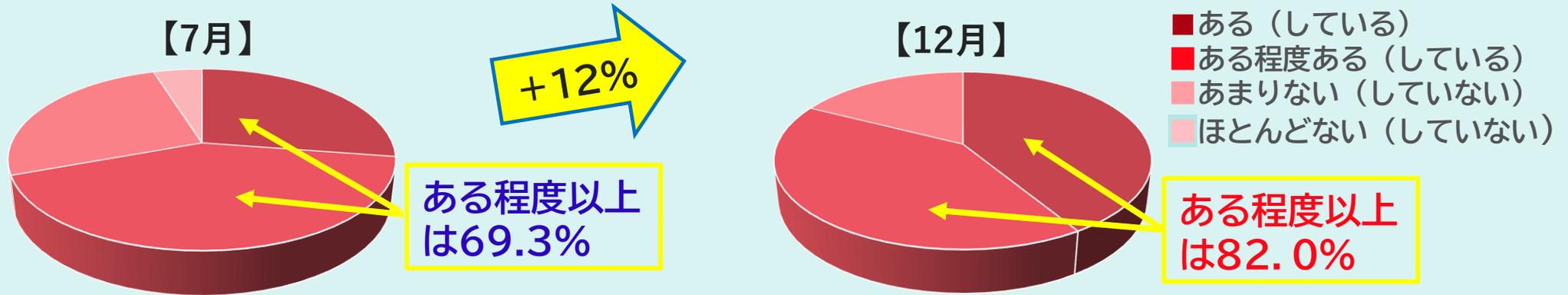


# アンケート分析 3 (生徒の変容)

## 生徒たちが「産業社会と人間」の授業に向かう姿勢は…

### 目標の理解

先生方の  
見方が変化



教員側は6人中4人が否定的な回答

教員側も全員100%が肯定的な回答

## 教員から見た「産業社会と人間」の授業で生徒が培った力は…

### 積極的に伝えようとする姿勢・主体性

先生方による見取り

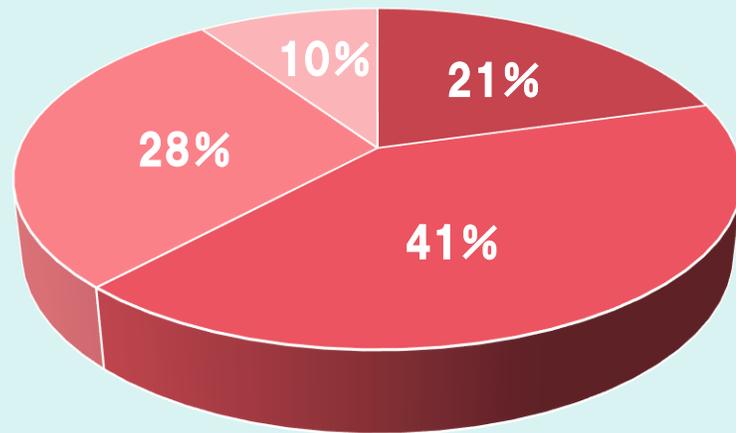
#### 【先生方の12月の記述より】

- \* 話し合いの場面などで他者との声かけなどに積極的になっている。
- \* 生徒自身が主体的に学習をする点がよかった。

# アンケート分析 4 (生徒の変容)

## 将来の目標(夢)に向かう気持ちはどのように変化したか

【12月アンケートより】



- 目標が決まって、それに向けて行動している
- ある程度目指す方向(目標や夢)が決まってきた
- まだ迷っているが、どのような方向に進むべきか考えている
- まだ何も決まっていない

まだ決まっていなかった生徒たちも考えている!?

**“生徒の90%が”**  
目標(夢)に向かって行動したり、  
考えたりしている!

### 【決まっていなかった生徒の記述より】

- \* いろんなことを深く考えるようになった。進路についてよく考えるようになった。
- \* 自分の得意を生かすようになった。
- \* 自分にあった職業を考えることが大事。 など

# アンケート分析 5 (先生方:記述回答) ~取組から見える成果~

Q:この授業の活動を通して得た力を、「他の場面で生かしている姿」が見られていたら教えてください。

- \* 話し合いの場面などで他者との声かけなどに積極的になっている。
- \* 自分の進路や卒業後の生活を具体的に考えられるようになった。
- \* 幅広い人間関係を築き、コミュニケーションをとっているような気がします。
- \* 考える力のついた生徒がいます。
- \* 答えがない問いに考えることができるようになった。
- \* 前は生徒たちは自分のことを話したり発信することが苦手だったが、今では通常の授業の中でも、グループワークをやったり、プレゼンテーションをやるのがそこまで苦にはならず、慣れてきている感じがする。

**授業で培われた力**

## 教師側からみた生徒が抱える課題

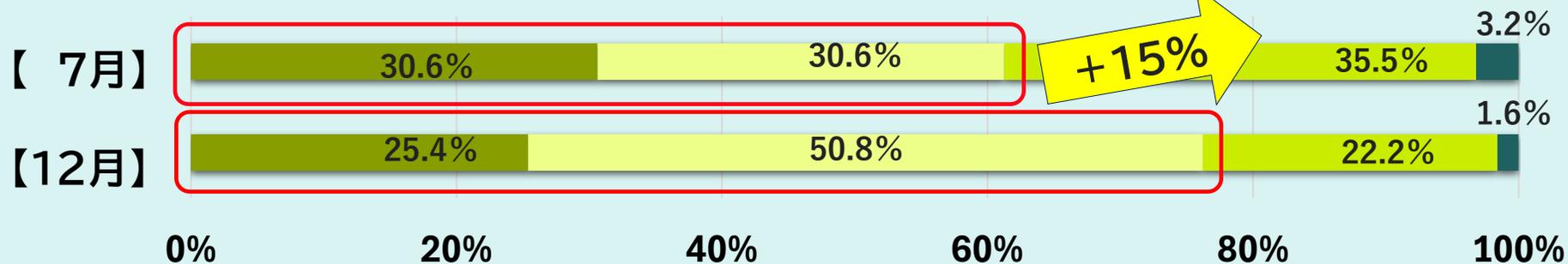
忍耐強く取り組む姿勢や振り返りにより改善する姿勢に課題

先生方による見取り ⇒ 7月・12月ともにこれらの姿勢には「課題あり」と回答

一方、生徒のアンケート結果からは

\* 忍耐強く物事に取り組む

■ よくできる    ■ だいたいできる    ■ 少しできる    ■ ほとんどできない



\* 問題点について、振り返って改善する  
「よくできる」と回答した生徒の割合



教師側と生徒側の認識にズレ



今後の課題として対応

# 07 センターの取組の振り返り ～支援の検証～

## ① 教材を効果的に使うよりよい授業への継続支援…○

➡ 教材を生かすためのカスタマイズ 学びのコミュニティの活性化・情報共有

## ② 授業/ドリカムシステムについての提案…○

➡ アンケート分析からの成果と課題 ⇒ 取組やドリカムシステムについて提案

今後も  
協働研究

## ☆「振り返り」を充実させ、生徒の「学び」を検証…△

➡ 生徒の深い学びへの検証や、先生方の授業展開などへの振り返り

# 08 今後の課題・来年度2年目の研究に向けて

＊「振り返りにより自己改善をする力」を伸ばす

➡リフレクションによる教育効果を高める指導：振り返りシートの充実

協働で研究

＊1年次に「探究的な学びの視点」を取り入れた  
成果を、2・3年次に生かす

➡ドリカムシステム全体のブラッシュアップに繋げる

学びのコミュニティを  
更に広げていく支援



# 研究大会 高校チーム

終